

平成30年6月吉日

小・中・高等学校長 様  
幼稚園・保育園長 様

東海北陸地方放送教育研究協議会  
愛知県視聴覚教育研究協議会  
会 長 松 村 光 洋

平成30年度

## 第56回 東海北陸地方放送教育研究大会

## 第50回 愛知県放送教育特別研究会の開催について（二次案内）

本会は、放送番組をはじめとする視聴覚教材を日頃から利用している方、これから利用してみたいという方が集まり、具体的な実践を基に参加者全員で考え学び合う会です。

また、東海北陸地方の幼稚園・保育園から高等学校、特別支援学校までの先生方が一同に会して情報交換のできる貴重な会です。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 大会テーマ「未来を拓く学びの場を創造しよう」

- 日 時 平成30年8月23日（木）10時～16時
- 会 場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）  
住所 名古屋市中村区名駅四丁目4-38  
TEL (052) 571-6131  
※ JR・地下鉄・名鉄・近鉄 名古屋駅より東へ徒歩約5分
- 主 催 東海北陸地方放送教育研究協議会 愛知県視聴覚教育研究協議会  
全国放送教育研究会連盟 NHK名古屋放送局
- 共 催 NHKサービスセンター
- 後 援 文部科学省 厚生労働省 内閣府 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 名古屋市教育会 名古屋市教育振興会
- 日 程 9:30 10:00 12:00 13:00 16:00  
(予定) 

受付	開会行事・講演	昼食	部会研究
----	---------	----	------
- 講 演 小林 祐紀 氏（茨城大学教育学部 情報文化課程 准教授）  
演題「主体的・対話的で深い学びの実現のための放送番組・ICT の活用」

三重県出身、金沢大学大学院教育学研究科修了後、金沢市内公立小学校に約10年間勤務。2015年4月より現職。専門は、教育工学、情報教育、ICTを活用した実践研究。小学校教員のときには、子どもたちが対話的コミュニケーションを通じて学び合う授業を目指し、ICTやホワイトボードなどを積極的に活用する授業を行っていた。現在は、整備が進むタブレット端末の有効活用と子どもたちの学びに関する実践研究や小学校プログラミング教育に関する研究を行っている。

主な著書として

「コンピュータを使わない小学校プログラミング教育“ルビーのぼうけん”で育む論理的思考」小林祐紀・兼宗進（編著・監修） 翔泳社（2017）



## 8 部会研究一覧

主な校種	部 会	部 会 の 内 容
幼稚園 保育園 小学校	① 感じる心を育てる部会	園児・低学年の児童一人一人の感性を伸ばし育てるために放送番組などを活用した実践について考えます。(幼小保の連携という観点から、幼稚園、保育園、小学校低学年の先生の参加をお願いします)
小学校 中学校	② デジタルコンテンツ活用部会	放送番組やDVD教材等のデジタルコンテンツを活用した実践について考えます。
全校種	③ 情報モラル研究部会	情報モラルに関する実践発表を通して、情報社会の中で必要な指導やその方法について考えます。
高等学校	④ メディア研究部会	教科学習の中で様々なメディアを利用し、より効果的な学習方法を追究した実践について考えます。

※部会研究の指定番組は設けません。

NHK for School×アクティブ・ラーニング 実践ワークショップ	NHK の学習コンテンツを効果的に授業に取り入れるための、ワークショップ型教員研修です。
---	--

## 9 参加について

(1) 資料代 1、000円 (当日、会場にてお支払いください)

(2) 申し込み方法 下の申込用紙に必要事項を記入の上、**7月20日(金)**までに下記のいずれかの方法でお送りください。

- ① 郵 送 〒444-8601 岡崎市菅生町1-3-1  
岡崎市視聴覚ライブラリー 内田 雅之
- ② F A X 0564-23-6794
- ③ 電子メール msyutida@st.oklab.ed.jp

## 10 問い合わせ先

- ① 岡崎視聴覚ライブラリー 内田 雅之 TEL 0564-23-6789
- ② NHK名古屋放送局広報・事業部 愛視協担当 TEL 052-952-7070  
(平日10時~18時)

.....切り取り.....

### 平成30年度 放送教育特別研究会参加申込書

学校・園名	勤務先住所	電話	氏名	部会No.

※会場準備の都合上、希望部会No.をご記入ください。但し、当日の他部会への参加を制限するものではありません。  
※NHKのワークショップへ参加の場合は、NHKとお書きください。